

① 次の言い方を、() の指示に従って敬語を使った言い方に直しましょう。

① これは、ぼくの本だ。

← (ていねい語を使った言い方)

これは、ぼくの本です。

② 校長先生が、来ました。

← (尊敬語を使った言い方)

校長先生が、来られました。

いろいろしゃいました。
お見えになりました。
おいでになりました。
おこしになりました。

可

③ 明日、行きます。

← (けんじよう語を使った言い方)

明日、うかがいます。
明日、参ります。
どちらでも可

② 次の言葉は、漢語と和語で意味も読み方も異なります。それぞれの読み方を書き、意味を選んで線で結びましよう。

(漢語) しきし

() 色のついた紙。四角の色つきの紙 (折り紙)。

(例) 色紙

(和語) いろがみ

() 和歌や俳句はいくなどを書く、四角い厚紙。

(漢語) ふうしゃ

() 羽根車に風を受けて回転させ、動力を得るもので、発電などにも使われる。

① 風車

(和語) かざぐるま

() 羽根車に風があたりと回るおもちゃ。

(漢語) せいぶつ

() 加熱などをしていない食べ物。

② 生物

(和語) なまもの

() 植物などの生命をもつもの。

三 次の [] に合う漢字を [] から選んで書きましよう。(同じ漢字を書く場合もあります。)

①なおす

病気を	治す
間ちがいを	直す

直す 治す

③しゅうかん

歯をみがく	週刊	二週間
	誌 <small>し</small> を買う。	前の出来事

習慣をつける。

週間 習慣 週刊

②のぼる

山に	登る
木に	登る
話題に	上る
けむりが	上る

上る 登る

④たつ

席を	立つ
家が	建つ
連絡を	絶つ

建つ 立つ 絶つ

四 二つ以上の言葉をつ結び付けて複合語を作りましよう。() には、読みがなも書きましよう。

(例) 立つ + 上がる ↓ 立ち上がる

①飛ぶ + 去る ↓ 飛び去る

③山 + 小屋 ↓ 山小屋 (やまごや)

②書く + 表す ↓ 書き表す

④花 + 畑 ↓ 花畑 (はなばたけ)

五 次の — の漢字に読みがなを書きましよう。「じ」と「ち」「す」と「つ」に気を付けて書きましよう。

① 地面 じめん

③ 鼻血 はなぢ

⑤ 自 自 みずか

② 三日月 みかづき

④ 湖 みずうみ

⑥ 続 つづ 続 く

たしかめシート 五—③ 名前)

⑥ 次の文には、主語と述語の組み合わせが二組あります。例のように、主語に——、述語に——を引いて矢印「↓」でつなぎましょう。

(例) 少しぐらいの 雨が 降っても、私たちは 遠足に 行くだらう。

① わたしは 小学校へ 行き、姉は 中学校へ 行く。

② わたしは 犬を かっていて、その 犬は えさを よく 食べる。

③ はじまりの チャイムが 鳴ったので、授業が 始まった。

④ ほくは 弟が 店から 出るのを 見つけた。

⑦ 中山ゆいさんが、はがきを書きます。①〜③のようなときに、はがきのあて先をどのようにつづけばよいでしょうか。 [] から選んで () に書きましょう。

① 個人に出す場合

郵便はがき

7 9 9 9 9 7 7

岡山県岡山市中央区南町七—五

大橋 正 人(様)

岡山市西区中町一—三
中山 ゆい

7 8 8 8 8 8 8

③ 自分あての返信はがきを相手に送る場合

郵便はがき

7 8 8 8 8 8 8

岡山県岡山市西区中町一—三

中山 ゆい(行)

返信

7 8 8 8 8 8 8

② 会社や団体に出す場合

郵便はがき

7 9 9 9 9 9 9

岡山県岡山市中央区六丁目六—六

岡山県環境科学館(御中)

岡山市西区中町一—三
中山 ゆい

7 8 8 8 8 8 8

おんちゅう
御中
行
様

〔八〕 花山小学校の山谷みきさんは、米作りの学習でお世話になった小林和夫さんにお礼の手紙を書くことにしました。次の手紙の に書くことを から選んで書きましょう。

拝啓

少しずつすすしくなってきました。小林さんは、いかがお過ごしですか。

この一年間、米作りのことを教えてくださって、ありがとうございました。小林さんから、米作りのときにどんな仕事をするのかをくわしく教えていただいて、米作りのことが本当によくわかりました。米作りの大変さや、小林さんがおいしいお米をたくさんの人に食べてもらいたいという気持ちで作られていることを知り、わたしは、ご飯を食べながら、このお米も大切に育てられたんだなあと思うようになりました。これからも、おいしいお米を残さずにたくさん食べたいです。

お体に気を付けて、また来年もおいしいお米をたくさん作ってください。

敬具

十月十五日

花山小学校

山谷みき

小林和夫様

少しずつすすしくなってきました。小林さんは、いかがお過ごしですか。

お体に気を付けて、また来年もおいしいお米をたくさん作ってください。

敬具

拝啓

山谷みき

小林和夫様

十月十五日

花山小学校

たしかめシート 五—⑤ 名前

【五】 次の漢字の ——— の読み方を [] に書きましよう。

① 額にあせをかく。	ひたい	⑦ 仲間を率いる。	ひき
② この木は幹が太い。	みき	⑧ こん虫を採集する。	さいしゅう
③ 船が寄港する。	きこう	⑨ 夫妻を招く。	ふさい
④ 畑を耕作する。	こうさく	⑩ 領土に色をぬる。	りょうど
⑤ 金銭の使い方を考える。	きんせん	⑪ 勢いよく走る。	いきお
⑥ 別室へ退く。	しりぞ	⑫ 医者を志す。	こころざ

【十】 次の ——— の言葉を漢字で [] に書きましよう。送りなが必要なものもあります。

① けわしい山道	険しい	⑦ きんとうに分ける。	均等
② けいけんしたこと	経験	⑧ おうふくする。	往復
③ ひんしつがよい。	品質	⑨ ちあある話	価値
④ 病気のよぼう	予防	⑩ ふたたび話し合う。	再び
⑤ 会をもうける。	設ける	⑪ さかあがりをする。	逆上がり
⑥ 氷がはる。	張る	⑫ るすばんをする。	留守番